備前市事務事業評価シート

（平成21年度事業）

事業の概要

事業開始年度			平成２１年度	根拠法令・例規等	備前市補助金等交付規則 備前市婦人協議会補助金交付要綱
総合計画	大項目	基本目標	03 地域文化とひとが輝くまちづくり	問合先	担当課（室） 生涯学習課生涯学習係
	中項目	基本施策	02 生きがいのあるまちづくり		職・氏名 係長　波多野靖成
	小項目	施　策	03 成人教育		電　話 ０８６９－６４－１８４１
事務事業名			06 婦人協議会支援事業	このシート作成に要した時間	4.0 時間

事業の目的

対　象 （誰・何に対して）	備前市婦人協議会・市内婦人グループ
目　的 （何のために）	備前市婦人協議会に補助金を交付し、女性の活動を通して、地域内のまちづくりの実践者として、地域社会の振興に寄与することを目的とする
事業の意図する成果 （どのような状態にしたいのか）	市内の婦人活動を更に活性化し、民間団体と行政が協働で地域のまちづくりを促進する

事業の実績

目的を達成するため実施した事業

細事業名	事業の説明	優先度
備前市婦人協議会補助事業	備前市婦人協議会に対し、補助金を交付し、活動に要する経費の一部を補助することと事務支援を行い、研修会等の案内と参加を促進し、会員の修養やボランテイア活動など社会参加の促進を行う	◎

事業費等

決算額		事業費等	単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
	事業費	直接事業費	千円	270	216	216
		必要人員　人件費		0.01人　75	0.02人　152	0.03人　228
		事業費計		345	368	444
	財源	国県支出金	千円			
		受益者負担				
		繰入金				
		市債				
		その他（　）				
		一般財源		345	368	444
	受益者負担比率		%			

結果指標

結果指標	結果指標名	単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
		説明	生涯学習関連ボランティア参加者数		
	結果指標量	事業	51	30	38
	対前年比	%	－	58.8%	126.7%
	活動コスト	円	75,000	152,000	228,000
	単位当たりコスト		1,471	5,067	6,000

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業の成果

成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
生涯学習関連ボランティア参加者数	目標値（A）	55	35	40	45
	実績値（B）	51	30	38	到達目標値
	達成率（B/A）	92.73%	85.71%	95.00%	

成果指標設定の考え方・式や説明

自主的参加となる生涯学習関連ボランティア参加者数

事務事業の評価

妥当性の評価

- 市の関与の妥当性
  - ☐ 市が実施するよう法令で義務づけられている
  - ☐ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
  - ☐ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
  - ☐ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- 必要性
  - ☐ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
  - ☑ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
  - ☐ 事業開始当初の目的から変化してきている
  - ☐ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている
- 市民ニーズ
  - ☑ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある
  - ☑ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価 <A～E>：C

効率性の評価

- コスト
  - ☐ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
  - ☐ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
  - ☐ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
  - ☑ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- 手段
  - ☐ 受益者負担率は適正である
  - ☐ 受益者負担率を見直す余地がある
  - ☐ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
  - ☐ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
  - ☑ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価 <A～E>：C

有効性の評価

- 目的達成度
  - ☐ 成果指標の設定は適切である
  - ☑ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
  - ☐ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
  - ☐ 成果指標達成率は80%未満となっている
  - ☐ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない
- 市民参画度
  - ☐ 法定事務 ・ 内部管理事務　であり成果は求めにくい
  - ☐ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
  - ☑ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価 <A～E>：C

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい

進行年度（H22年度）の改革改善内容

状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

説明：婦人会での研修を生かし、地域に還元するボランティア活動への参加促進などに取り組む

総合評価

国民文化祭ボランティアや人材養成講座など、３８名の協力を得ることができた。また、生涯学習関係にとどまらず、市の行事に積極的に参加し、自主運営も期待が持てる

評価区分 <A～E>：C

平成23年度の方向性 及び 取組目標

方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○				

取組目標：市内婦人活動を婦人会会員のみならず、一般婦人をも対象に広げていく